

第6回 南九州市議会議員定数等調査特別委員会 会議録

令和4年10月21日(金)

委員会室

(開会 10:49～)

1 南九州市議会に関するアンケート調査結果について

○西委員長 議会定数等調査特別委員会を開会いたしたいと思います。

会次第に従って進めたいと思いますが、1番目の南九州市議会に関するアンケート調査ということで先日、事前に皆様にお配りしていただきました。それぞれ感想もあると思いますが、先に、事務局のほうから説明を。

○川崎議事係長 南九州市議会に関するアンケート報告書について、大まかな説明をしていきたいと思います。

まず、1ページです。8月に調査を行ったわけですけど、この集計方法にありますように、やはりそれぞれ回答者によって、未回答のところがあまして、今後の数字のところでも未回答によりまして、数字がちょっと一緒になってないかなってところもあると思いますけど、回答のとおり、全部アンケートのほうを集計しております。

今回、1,500人の方に発送したところであります。回答が443で回答率が29.5%でありました。年齢等を調べていったわけですけど、このような結果になっております。

あと問3は地域別でなっております、お目通しいただきたいと思います。

それでは2ページにつきましてはですね、今の結果の円グラフになっておりますので、またここもお目通しいただきたいと思います。

3ページです。問4、現在の議員定数についてどう思われますか、一つ選択という形で、4項目ありましたけど、現在の定数のままで良いが151減らすべきが195という形で、1番多かったのは減らすべきという形のアンケートになっております。また、下のほうには円グラフでお示ししてあります。

次は5ページになります。問4で議員の定数についてどう思われますか。減らすべきである、増やすべきであると選ばれた方にお尋ねします。何人が妥当と考えますかということで、今回、この委員会、何人にするかというのが協議の内容になってるわけですけど、1番多かったのが、イの18人、99でした。次は16人の72という形で、減らす形の人数が多かったところであります。

続きまして、7ページにいきます。7ページも今度は減らすべき増やすべきと、答えた方に、妥当な人数と思われる理由は何ですかという、理由のことについて記入されております。またア、イ、キ、クが多いわけですけど、ア、イについてはここは増やすべきとか現状維持の方の声だと、増やすべきの声の方だと思います。またキ、クについては、減らすべきという形で回答が出ているという形になっております。

アは市の面積を考えると議員数は確保すべき、それとまた減らすべきのほうでは、議員数を少々減らしても議会機能は発揮できると思うという形の回答となっております。

続きまして9ページになります。議員報酬についてです。議員報酬を議会議員に求めることは他市の状況を踏まえて回答くださいという形で、1番多かったのは、多いと思うという方が179ですね。適当だと思うが155という回答となっております。

続きまして11ページのほうをお開き願いたいと思います。現在の報酬額であなたは議員を目指すと思いますか、というところで残念なことに1番多かったのは思わない。でも、思うという方も113という形で出ておりますので、そのような回答になっております。

次が13ページになります。議員を目指すのところでは思わない、わからないを選ばれた方にお尋ねします。どのくらいの報酬額ならやろうと思いますかということで、出てますけど、今現在、今回このアンケートでお示したのが、議員の報酬額は443万8,720円という形で、最初のアンケートのときに御提示して出しております。回答といたしましては、300万から400万が27、400万から500万が36というところでここが多く、大体今の形の議員の報酬、思わない、わからないと回答している割にはこの数値で、また出ているところがあるところです。

続きまして15ページです。政務活動費のことについてです。政務活動費が支給されていないことを知っていますかということでは、やはり皆さん結構知らなかったという形で、知っていたという人の数よりも、大幅に多かったところです。

続きまして17ページです。議員の政務活動費を支給すべきと思われますかという形で1番多かったの支給しなくてもよいということです。しかし、反面、アの支給すべきも極端に少ないわけではなく半分という形で、わからないを除きますと、支給しなくてよいが3分の2、支給すべきは3分の1というような数字になっております。

続きまして19ページです。なり手不足が深刻化している問題は何が原因だと思いますかという、多かったのが議会に対する無関心、また、選挙の負担のほうで200を超えた形で回答されております。また、ここについては21ページのほうにですね、いろいろとまたその他意見という形で出ております。もう皆さん見ていただいていると思いますけど、このような形で回答、意見が出ております。

続きまして22ページです。女性や子どもの世代が議員になるためには何が必要と思われますかというところで、やはり上位なのは、家族の理解、職場の理解、育児介護と休暇制度の拡充というところが必要という形で回答されております。ここについても、23ページの下のほうに、意見が出ておりますので、また皆さん見ておいてください。

なり手不足については問14のところ、24ページからですね、31ページまでですね、市民の方のアンケートをしてくださった方の意見が出ていますので、見ていただきたいと思います。32ページから女性の世代が議員になるためにはというところの意見も出てますので見ておいてください。

38ページです。問15 あなたは市民のために議員として働いてみたいと思いますか、という形で、本当残念なことにウの思わないというのが1番ですね、多かったところですけどその中では、45人の方は条件が整えばやってみたい。また、2人の方ぜひやってみたいというような回答でありました。

問16のところ問15についての意見が、条件が整えばやってみたいを選ばれた方についての意見が出ております。

次に、44 ページですけど、問 18、これ議会だよりについてですけど、本当ありがたいことに、ア、イ、ウですね、前から読んでいる、関心がある時読んでいる、時々読んでるという形で、100 人以上の方のそれぞれの回答が出ております。

46 ページ、市議会傍聴についてです。傍聴したことがあるは、イで 26 人ですけど、今、見たことがないという方が 1 番多いところであります。

インターネットの中継あるいは録画配信もしてるんですけどちょっとまだ、やはりアンケートですけども、まだちょっと少ないところが見受けられます。

次、48 ページ問 20 ですけど、市のホームページである市議会の内容について、ここはちょっと残念なんですけども、存在を知らないというエのほうで 1 番となっているところでありました。

続きまして 50 ページです。市民と語る会のアンケートですけど、1 番多かったのが、やはり知らない、次が知っているが参加したいと思わないというのが、ちょっと多かったところで、ちょっと残念な回答となっております。

続きまして 52 ページになります。現在の市議会をどのように評価しますかという形で、わからないというのは 148 あったわけですけど、ある程度評価するが 140 で、わからない以外の中では 1 番多くて、やはり皆様の議員活動が評価されているんじゃないかと考えるところです。

次に、54 ページです。市民の声が市議会に反映されていると思いますか、というところではちょっと残念なんですけど、思わないが 1 番多かったところです。

続いて 56 ページですけど、議会への活動の期待、何を期待しますかと、やはりイの地域の諸課題、ウの解決の市民の生活環境の向上が多かったところです。

次は 58 ページです。市議会議員に求めることは何ですかというところで、それぞれに多いんですけど 1 番多かったのは市民とのコミュニケーション、次、政策立案能力が 2 番目で、行政の知識情報収集という、この 3 項目が多い回答となっております。

次、60 ページになります。市議会議員の活動に満足していますかと、わからないを除きますと、やや満足しているが 90、やや不満が 89 と、大体半分半分というような回答となっております。

次に、62 ページ、問 27 です。議会議員に意見や要望などを伝えたことがありますかということで、いいことなのか、伝える意見や要望が特にないというのが 1 番多く、残念なことで、ウの意見や要望をされても実現しないが 2 番目に多い回答となっております。

64 ページからは自由意見という形で議会に対するそれぞれの意見が来てましたので、それを掲載しています。以上が今回のアンケートの結果となっております。これは参考にするということでしたので、それを踏まえて、また、今後の委員会での協議の中で進めていただければと思います。以上です。

○西委員長 御苦労さまでした。

事務局のほうも、この集計も細かくしていただいて大変だったのかなあと考えております。それではこのアンケートに対する意見とか、何か感想等があられば伺いたいと思いますがございますか。なければこの結果はもうこういうふうだったという、アンケートについてはこうだったということでそれぞれの皆さんが認識していることで、よろしいか。

○日置委員 2点あって、1つは、これは広報広聴活動をもっと強化したほうがいいですよってことがアンケート結果から私は見えたと思っています。基本的に60ページなんですけれども、市議会議員の活動に満足していますかっていう質問に対して、わからないが1番多いっていうのはすごく残念だなというふうに思っています。このアンケートに答えてくれた方々は、7割以上の方々が、議会だよりを少なくとも時々は読んでいる人たち、なんですよ。その人たちが、わからないって言うてるっていうことは、それは、議会だよりにどうこうって言うてんじゃないですからね。それは変なふうに聞かないでください。ですけどそれ以上の発信が多分ないと、なかなか伝わらないんだろなっていうふうには見ていて思いました。

それが、めぐりめぐってその議員になりたい理由の議員、なり手不足の中で、議会に対する無関心とか、議員の仕事に魅力がないとか、そういう回答につながってくるんじゃないかなと思っておりまして、この広報広聴活動っていうのは、議員個人では、やるのはもちろんそうなんです、チームでやれば、なおのこと効果が上げられるんじゃないのかと。いう感想を持っています。一言言うとやっぱり悔しいです。みんなそれなりにやってるつもりだと思うので、2番目が女性や子育て議員になるための何かしらのアプローチを議会としてとるべきなのではないかと思っています。

まず、19ページを見ていただけないでしょうか。19ページの問12です。なり手不足が深刻化している問題は何が原因かっていうので、1番が議会に対する無関心、イです、2番がキ、選挙の負担。3番が、ア、議員の仕事に魅力がないと。これが順番になってくるんですけれども、次に22ページをごらんいただけないでしょうか。これが、女性や子育て世代っていうふうに変えたと、1番は家族の理解になってくるんです。なり手不足のときは無関心とか、選挙の負担とか仕事の魅力だったのに、ここに限定すると家族の理解、職場の理解っていうのが上位になってきてこれは、なり手不足っていうものについて一言で語れなくて、やっぱりそういう現状があるんじゃないのかなと。いうことがアンケートでまた示されたのではないかと思います。法律も改正されてその辺のところもやらないといけないっていうのもありますし、何かしらイベントなのか、広報広聴活動なのかわかりませんが、議会として対応を迫られているのかなというふうに私は思いました。広報広聴活動の強化と、あとその、男女比の問題に対する解決を求められているように感じました。以上です。

○西委員長 日置議員の感想ということで、2点出ましたけれども、ほかの方々に、このアンケートについては、御意見等は、自分の感想とか、いいですか。この件については、皆さんこれを読まれて、それぞれの感想もあったと思うんですが、私個人的にはもうちょっと、この回答率が欲しかったなという思いはございます。約30%ですので、ちょっと、もうちょっと期待したかったなあという思いだけです。この件についてはいいですか。

○日置委員 いや、私はこう思ってて、結論から言うと、アンケートを参考にして、何かしらの具体的な行動があったほうがいいんじゃないかと思うんです。1番最初の第1回委員会のときに、定数特別委員会にするのか、定数等特別委員会にするのかっていう議論があって、定数だけなんだったらもう定数でいいですよ。それ以外の、議会改革だったり、もろもろのことについても、範疇にするんだったら等がいいですよっていう、ことを私

は言ったつもりで、そこでみんなは、多くの意見として定数だけじゃなくて色々をというふうになったと思うんですよ。あくまで参考にするっていうことは、委員会として取っているの、やっぱり、議会としてとってるので、これを受けて、もちろん読みました最低限というか、やっぱり予算を使って、事務局はこれ全部集計してくれてるものなので、貴重なデータだと思うんですね。それを受けて、何かしらやっぱり、行動が一つ二つはないとあったほうがいいんじゃないのかなというふうには思います。このアンケートはすごく価値があるなと思ったのが仮説として、議員のなり手不足の中で報酬の問題が大きいんじゃないのかっていうの結構意見として出てたわけですけど、アンケートをとって見たら、むしろそこじゃなかったというのが分かるわけですよ。これは主観と客観の違いだと思うんですよ。そういうふうにするすごい貴重なデータなので、一度、アンケート内容が正しいと言うつもりはありません。正しいというつもりはないけど、これを受けて、私たちの認識が変わったからできることとかをしたほうが、個人的には、よりいいのかなというふうには、思います。あくまで、議員が、今後の議員活動に生かすっていうのだと。もったいないなっていう気持ちです。

○西委員長 確かにですね、定数等調査特別委員会でしたので、アンケートもとっていただきました。また県内の、前回のときにですね、各市議会の状況、人口に対する議員定数というようなデータもいただいております。そこを参考にですね、僕は先ほど、30%弱だというふうに、残念だったなと言いましたけれども、実際はこの30%の方々にはですね非常にこう、ありがたいと。データの的にこういうのをいただいたという意味はですね確かに尊重しないとイケないかな。そんだけの方が、議会に関心を持って回答していただいたということについてはですね、感謝したいと思います。

ほかにはないですか。

○内園副委員長 57 ページのこの四角に囲ってある中で、金目当ての議員ばかりだと人間じゃない動物だっていうふうに、書かれていることと、あとは、65 ページの20 番のところで、やる気のないもの議員の排除という、きつい言葉があります。それから67 ページには、政治家になるやつにろくなものはいない。金目当てのろくでなしで許しがたい。というふうな、こういう本当にショックな言葉が続いてて、あれだったんですけど、この人はこういうふうに思っているんでしょうから、だからこそショックだったということは、もう残念だったっていうのがだんだんつのってきて悔しいっていう気持ちもあるんですが、何らかの形で、この悔しさをはらしていきたいなという気持ちなんですけども、本当にこのままアンケートをもらって、議員だけで決められないからアンケートをとったんでしょと、アンケートを生かしてくださいというような意見も中にありましたね。だからやっぱり何か、何かの形で生かせるようにして行かなければいけないんじゃないかな、ただ取りっぱなしで、読みましたよじゃいけないなっていうのもあります。以上です。

○西委員長 感想ですので、多様な御意見があったのはもう事実ですので、そのとおりだと思います。2 番目にいっていいですか。

○日置委員 どっちでもいいですけど、どっちかを決めたほうがいいんじゃないかなと思っていて、つまりこのアンケートに対して、各議員で読み込んで議会活動に反映させるのか、プラスアルファで議会としてこのアンケートを受けて、何かしら取り組んでいくって

いう形に持っていくのかっていうところだけっていうのもこのアンケートでまさに書いてますけど、あなたの意見や市民の声が市議会に反映されていると思いますか、というのは思わないやわからないで7割を超えているわけですね。

アンケートなんてのは1番わかりやすい市民の声を聞く方法で、これを受けて、何か、私としては実際にこう反映しましたっていうものが、参考にですねあったほうがいいんじゃないのかなというふうに思うんです。その内容は、だから別にそれが、ここまで必要ないっていうことだったら別にそれでいいですけど、みんなの意見だから。ただ、そこはあやふやにして進むのはどうかなっていう、ちょっと。

○西委員長 ただいまの意見は、このアンケートを反映して今後、議会として何か、何かしら活動をしたらという思いを、述べたところだと思いますが、このことについて、はい。

○吉永委員 この今日の委員会です、結果をもとに、どうっていうのを話をして、定数等を今後どうするかで、その他じゃないかなと僕思ったのが、要は誰もが、この結果を受けて、何かしらというのは考えているので、議会としてどうするかというのはその他で、協議すればいいんじゃないんですかね。

○西委員長 という御意見ですが、アンケートはあくまでもこのアンケートということで、今後に生かすのであればその他のところで協議をしたらどうかという提案ですが、それでいいですか。

(「はい」との声あり。)

○菊永委員 私も今、議会の広報委員というようなことであります。

次の広報委員会でアンケートの結果っていうものも、先ほどもありましたけれども、議会報を、時々見るっていうのが出てましたので、そういう形で、しっかりとこの報告等については協力ありがとうございましたということぐらいはですね、しっかりと議会報のほうに載せてもいいんじゃないかなあというふうに、それが我々この議会の広報委員会のその活動にもなってくるんじゃないかなというふうに思っております。以上です。

○西委員長 このことについてもその他のところでちょっと、一緒にアンケートを受けて、どうするかというの、その他のところでまた話をちょっと出していただければと思います。このアンケートの結果いいですか。

(「はい」との声あり。)

○西委員長 それではもう2番目に早速入りたいと思います。南九州市議会議員定数等についてということですねアンケートをとっていただきました。その前の既に、5回討議をしたところでございますが、この定数についてですねもう大体の方向性を決めないといけないのかなと思っております。残り1年強ですけども、このことについて皆さん方が、御意見を伺いたいと思いますが、誰か。

○竹迫委員 定数ですね。これについては、12月議会までには結論を出さないかと、改選時期の1年前ですね。そこは目標にして、結果を出すべきだと私は思う。このままでいくとか、減らすとか増やすとかですね、はい、決めて、そうしないと、少なくとも1年前ですね。ということをおもっています。

○西委員長 わかりました。せめて12月の議会までということですので、それはもう、皆さん、定数と申し上げましたが、この中で報酬も含めてですね御意見を伺い

たいと思います。それと、政務活動費、これまで、定数、それと、報酬、政務活動費まで含めて、御意見を伺いたいと思いますが、皆さん方の思いを伺いたいと思いますが、御意見をある方。最終的にはですね先ほど申し上げましたようにも、各全員の御意見を最終的には伺いたいと思いますが、その前に、意見を先に出していただいてもいいかなと思いますが、いかがでしょうか。

○吉永委員 委員長が言われたのであれば、もう1人ずつ、今の時点での、各意見を聞いたほうがもう時間が、いろいろ意見言った後じゃ、それぞれ出してくださいと時間ももったいないんで、今の時点でどう考えている、参考にですねこのアンケートをもとに、でもいいと思いますけど。

○西委員長 そういう御意見がございましたが、このことについては、議席番号からずっと、一応、御意見を伺っていいですか。

（「はい」との声有り。）

○西委員長 それではもうそのほうが早いと思いますので、この3点について、はい、定数、報酬、そして、政務活動が3点について、御意見を伺いたいと思います。

○川崎議事係長 各委員の意見と本日お配りした資料のことについて御説明してなかったものでさせていただきたいと思います。

アンケート中に、本日、配ってるのが南九州市の現状という形で、これはアンケートをする際にもそれぞれの市民の方にお送りした部分で、このような形でやって、最新の令和3年12月31日現在のものが、また新しく来ましたのでそこを修正しております。お目通しいただきたいと思います。あともう1枚、資料1の1枚紙については、これまでの委員会の中で、委員の方からの質問がありまして、議会費の動向、あるいは市職員の給与がどのぐらいかというのですね、あと最後にまた今の会議の状況等もわかってましたのでそれも直してますので、参考にさせていただきたいと思います。以上です。

○西委員長 市議会の現状ということで、このアンケートをとるに至って、この資料を提供して回答いただいたということです。

それでは、1番議員の方からよろしくお願いします。

○西山委員 私は定数は、もう2名減でいいと思ってます。それと報酬に関しては、その分を少しでも上げてもらえればいいと思います。それと政務活動は、これは実際、本当に一生懸命してる人間は必要だと思ってます。こういう言い方するとあれかもしれませんが、そういう意味で政務活動費は、できれば出してほしいです。以上です。

○取違委員 定数について私は、前回も言いましたが、各委員会ができる、最低限のラインということで18名、2名減ですね。というふうなことでいいのではないかというふうに思っています。報酬については、それぞれの意見があるかと思いますが、私は下げても問題はない。いいのかなと思います。政務活動費、これについても、基本、我々は私はボランティアであるというようなことも考えてますので、通常はボランティアですから、特に、必要ないというふうに考えてます。以上です。

○上赤委員 私は議員定数については、今のアンケートを見ても、18か16、そのところの数についてはまだちょっと、自分なりにどうかなという判断、ちょっとまだ迷ってるところもあるんですけど、いずれにしても2名減、もしくは16まで検討してみてもいいのか

なあという気持ちであります。それと報酬については、今のこの若い方々が議員を目指すようなことを考えると、やはり下げるとはちょっと厳しいんじゃないかなと、やっぱり現状維持をしながら、若い方々の参加も促すべきじゃないかという気持ちがあります。それと政務活動費については、今のところ、さっきボランティアということ声も出ましたが、今のところは、頑張るしかないのかなという形で、そこまで活動費については考えていません。以上です。

○大倉野（由）委員 4番、大倉野ですけど、やっぱりアンケートの結果を見てですね、つくづく思いますが、やっぱり先ほども御意見がありました。アンケートに対して、やっぱりこう返す必要があるっていうふうな御意見がやっぱりまとまるわけですが、なり手不足の問題などで、特に議会に対する無関心というふうな、こういった数字がこんなに大きいというのがですね、やっぱり、こういったのがやっぱり問題だなと思いますので、これは、やっぱり議会の果たす役割がですね、そういった意味では十分に理解をしていただいてない反映かなと思います。つまり、こういった合併して広域の町ですので、それぞれの市民の皆さんの多様な声をですね、反映をする意味では、定数は減らすべきではないという意見です。あと、議員報酬も市民の皆さんの暮らし、との中で言えば非常に最近はですね、それぞれ、上げるべきではないんじゃないかなと思います。議員活動にとってやっぱり、私たちは特にですね、市民の皆さんの声を反映させるという点でアンケート活動をしたり、いろんなことを努力をしております。政務活動費もあってもいいんじゃないかなと思います。

○米満委員 定数についてはですね、2名減の18名ということで考えてます。報酬については、さっきもありましたけども、上げればいいのかもしらんですけども、今のところ、私は現状維持でいいんじゃないかなというふうに、それから、政務活動費については政務活動費がなければ活動できないというもんでもありませんので、私は今ところ必要はないんじゃないかなあと。時が、その時が来ればによってまた、変わっていったらいいというふうに思っています。以上です。

○大倉野（忠）委員 当初、1人1人意見を聞く機会があったと思いますがそのときと変わっておりません。議会機能をやはり低下させないためには、それなりの議員は必要かというふうに思いますので、ただ人口が前回とすれば変わっておりますので、2名減の18名が妥当ではないかということと、アンケートの結果は、参考あるいは尊重はしないということですが、アンケートの結果でも18名が多かったようです。それから、報酬についてはですね、現状で、何ら問題はないというふうに思っております。上げる必要もないし、下げる必要もありません。議員が、削減されれば定数が減れば当然経費も減ってきますので、現状でいいと思います。あと、政務活動費についてはそれぞれで活動の仕方はもちろん違うとは思いますが、議員報酬の中から捻出するという形で、特に必要はないと思っております。以上です。

○鮫島委員 それでは、私が定数につきましては当初20名と言っておりましたけれども、いろいろとこのアンケートの結果、かれこれいろいろ総合して考えますと18名でいいのかなというふうに思っています。当初20名と言ったのは、先ほど大倉野議員からもありましたように、やはり入りやすい議会ということで、そう思ってたんですが、いろいろと市の

現状、それから人口減少の問題等でいろいろ 18 名でいいのかなと思っております。それから報酬でございますけども、報酬はもう現在のままで、いいんじゃないかなろうかと思っております。政務活動費ですが、これもいろいろと使い勝手の悪い活動費だというふうに、いろいろ聞いております。こういうので、また、過去の請求をしたりということも事件が起こるやもしれませんので、私は要らないというふうに感じております。以上です。

○日置委員 私は定数は 16 で報酬は維持です。ここまですべては最初に述べたときと意見は変わりませんでした。政務活動費については結論から言うと、現時点では、まだ早いのかなというふうに意見を変えます。当初私は、報酬でなくて政務調査費を出すことによって、これは、条件として 1 円単位で全部ホームページに領収書をアップすると。これを行うことによって報酬じゃなくて政務活動費を上げることによって議員の動きがしっかり見えてお金がクリーンになるんじゃないかというようなことを申し上げました。その利点があるとは今も思いますが、アンケートをとったら、支給すべきであるが支給しなくてもよいのを 2 倍です。やはり、3 人中 2 人理解得られていないというような状況での信頼関係の中で、これをするのは、やはり時期としては少し早いのかなというふうに考えを改めました。よって、ここだけちょっと自分の考えを変えてということです。以上です。

○川畑委員 私は、定数、報酬、現状のままでいいんじゃないかなと思います。政務活動費については、少しいただいたら、ありがたいなというふうに思っております。まず定数報酬の訳なんですけれども、やはり、少し、それぞれの市民の意見というのもしき上げる。また、議員としてなり手のところで、やはり多くの方々がそういう形の機会があったほうがいいんじゃないかなというような考え方です。

○内園副委員長 定数に対しては、女性議員や子育て中の議員が入ってきてほしいというような意見と、あとは、アンケートの中には議員がどこにいるかわからないと、20 名いてもどこにいるかわからないって議員に会ったことがないというような意見がありましたので、これ以上減らしたら、ますますわからなくなるんじゃないかという考えでそのままでいいという意見です。報酬もそのままでいいです。政務活動費は、議員が一生懸命頑張っていて、あちらこちら視察して歩くには必要だとは思いますが、財政の厳しさとかそういうことを考えると、そのままでいいかなという思います。現状ですね。

○西委員長 僕ももう人口減に伴って、定数を 18 でいいんじゃないかというふうに思います。報酬についてもですね。財政状況等を考えると、現状維持、そして、政務活動費についてもですね、報酬の中から活動に使えていただければというふうに思います。以上です。

○今吉委員 定数は私は前回の選挙から 18 名と申しております。今回も 2 名減の 18 名、報酬については現状維持、政務活動費については、選挙の公費も出るようになると思いますので、政務活動費はなし。以上です。

○菊永委員 定数等についてはアンケート等々も出ていますし、2 名の減の 18 ということですのでお願いします。報酬等についてもですね、これについては今先ほどもあったように選挙の公的資金っていうのが決定させていただきましたので、報酬等についても現状でいいのかなというふうに思っております。政務活動費等についてはですね、それぞれ議員がやることでありまして、特にここで私のほうは活動費については、なくてもいいんじゃないかなというふうに考えております。以上です。

○蔵元委員 定数は、一応 16 名ということで言うてありました。16 名です。なぜかという、庁舎を造るという今の段階である程度数を決めたい。将来的に減っていくだろうと思っているので、もう今で 4 名減をしたほうがいいのかというふうに思っています。あと報酬については、上げる下げるとかっていうのではなくて、やっぱり全体の議会費の中でどういうふうな位置づけをするのかというのを検討していただきたいということです。多分、人数が減れば、少しそれは、議会の委員会とかの出る回数とかいろいろ、調整してくるとやっぱり、しっかり日数も増えていくとかっていうのでいけば、上がる可能性もあります。政務活動費、これは今後ですね、やっぱり所管事務調査で、みんなで行くようなのは全部議会の中で出るんですけど、個人的にとかあと何人かでとか、何かを調査したいと、そこに行くというような旅費ぐらひは、これはやはりちゃんと議会活動の中で、やっぱり遠いとかある程度の負担がかかりますので、そういうのはちゃんと報告をして、使わせていただくという形であればいいと思うのであってもいいというふうに考えています。以上です。

○竹迫委員 私は、定数は 2 名減でいいと思います。それと、報酬はもう現状維持で十分だと思う。それでいろいろ募集のチラシ等を見ますと、こういうこと等からも考えますと、報酬は、今でもちょっと高過ぎるんじゃないかなとぐらいの気持ちです。しかし、現状維持でいいんじゃないかなというふうに思います。私は、議席をもらったときにですね、最初、議会事務局の書記の方に言われたんですが、竹迫議員報酬は生活報酬じゃなかったでなあと。活動報酬だという事を言われたのをいまだに記憶しており、そういうことも頭に入れてずっと来ているんですが、そういうことを考えますと、今の報酬はどっちかっちゃうと、もう高過ぎるぐらいだというふうに思いますが、現状維持というふうに思います。アンケート等でも、不満はないわけですね。今のなろうというような人でも、十分クリアしているわけですから、これは上げる必要はないというふうに思います。それと、もう政務活動費、もうこれは諸悪の根源になると思います。ですからこれはもうやるべきじゃないというふうに、以上です。

○浜田委員 順番がきましたので、発言をいたします。

定数につきましては、現在 1 人、残念ながら死亡で、欠員 19 名であります。1 人欠員ということは事実ですから、私自身は、来年 4 月に県議選に立候補と同時に、議席を失効されますので、事実、1 議席減でありますから、よって、18 名の定数でいいんじゃないかと思っております。さらに、アンケート、ずっと聞いておりますと芋議員で、銭目的という、不届きなことを伺いました。自他の精神で政治をやっているものに対しては、無礼千万の思いであります。そういう思いの中で、市民はそうとう苦しい経済の状況にあるということを判断いたします。税金すら払うのは大変な市民の環境を考えたときに、議員の報酬については、今の状況でいいんじゃないかと思っております。政務調査費には、自他の精神の議員として、考えたときに不要と判断いたします。以上であります。

○松久保委員 定数 18、報酬は現状維持、政務活動費は必要なし。以上です。

○加治佐委員 定数については、これまで 4 名減で行って来ますけども、アンケート結果を見ますと、18 もやむを得ないかなというふうに思います。報酬については、アンケートの結果でも半々の結果が出てくるんですから、現状のままでいいと思います。政務調査に

については、不必要というふうに思います。

○吉永委員 僕は当初から 14 と言っていましたので、14 なんですが、今後決める中で、人口や面積を考えたらまたこの数字はちょっと考えるところですが、今のところ 14 は変わりません。報酬ですが報酬は、私は上げるのを前から言ってますので先ほど資料でいただいた、今 28 万 6,000 円ですよ。大体。なのでこれが 37 歳なんですけど、これは年齢もそれぞれよりまし、年金や福利厚生を考えれば、僕は少ないと思ってますので、報酬を上げるべき額は今のところ申し上げません。政務調査費ですが、やはり政務調査費も、ちゃんと調査に行き報告をしますんで、しっかりと、透明性な活動の中で出すべきだと思います。以上です。

○山下委員 皆さんのいろいろな意見を聞く中で、どれが妥当かなと思ったりしておりますが、アンケート等の結果だけが全てではないんですけれども、でも、定数につきましては、私は 18 が妥当かなと思います。アンケート結果に、少々減らしても、議会運営は、議会活動は発揮できると思うというのが 1 番多いですよ。ところが、市の面積を考慮すると、議員数は確保すべきという、答えも非常に、割合的には多くなっております。人口が減ったから、単純に議員も減らそうということではないんですけれども、財政面やとも考慮し、しかし、その議会のきちっと形態をしっかりとしていくためには、18、2 名減の 18 それから報酬は維持、減った分を 18 に回すなんていうのはやるべきではないと思います。それから、政務活動費、今の福岡の日帰り研修を 20 名分一応予算は計上してありますけれども、なかなかこれ全額使ってはいないと思うんですよ。だから、そういう組み方ではなくて、当然、上限は決めないといけませんけれども、議員の活動として、きちっと請求をし、妥当であれば、これは活動費として認めるべきというのがありますし、一人一人に月に 1 万やりますよじゃなく、実際にその活動が、それに妥当するものかどうかという判断です。妥当であれば、政務調査費ってねやはり必要かなというふうに私は思います。額は今のところ幾らというのは考えられませんが、以上です。

○西委員長 皆さん御苦労さんでした。

全員の御意見を伺ったところなんですけれども、現状維持、あるいは現状維持あるいは定数減も結構いらっしゃいました。また報酬については、現状が 1 番多かったところなんですけれども増という方もおられました。政務活動費については現状で不要ではないかという御意見と、用途、要するに使い道によってはあったほうがいいんじゃないかという御意見もございましたが、どうですか定数については 18 名、2 名減の 18 が 1 番多かったんですが、時間も迫っておりますが、方向性としては、もう 18 を目指してよろしいですか。

○日置委員 前回一致である必要はないと思うので、決を採ったらどうですか。

○西委員長 日置議員の意見はもう手を挙げていただいて、という意味ですよ。

○日置委員 そうそうそう、そういうことですよ、今は決を。とり方の問題というか。

○西委員長 私がもう 18 が多かったんで 18 をもう目標として進めていいかという、言い方でしたけれども、どうしますか。

○今吉委員 もう、今日決を出すんですかそれとも今日は、定数を減でいきたいと思いますってまた次回で、ぴしゃっと減の何名と、そうすると決めるのかも今日と手を挙げて決めるのか。

○西委員長 定数を決めたいと思います。最終的にですね、12月議会に向けて、もう1回集まるのか、ちょっと、事務局とも話をしないといけないんですが、もう方向性を今日は決めたいと思います。議論をずっとしていても、なかなかです。今日も第6回目です。ですからもう、その定数はこれでいきますよというのを決めたいと思います。

よろしいでしょうか。

(「はい。」との声有り)

○西委員長 もう御意見がありました。挙手をしたほうがいいですか。1番多かった18名から行きたいと思いますが、ごめんなさい、順番に行けば、現状維持が先ですので、現状維持の方も挙手をお願いします。2名ですね。

○西委員長 次に、18名が適当だと思う方14名。

○西委員長 次に、16名でいいんじゃないかという方。3名ですか。ということは14はなしということで決まりましたが、定数については、18名ということで今日はもう決めてですね、今後、12月議会に向けて取り組んで、定数については進めていきたいと思います。それでよろしいでしょうか。

(「はい。」との声有り)

○西委員長 次に、報酬でございます。報酬についても現状維持が1番多かったんですが、増も3名いらっしゃるか、また減もありましたけれども、もうこれも、現状維持でいいという方、挙手をお願いします。15名。

○西委員長 報酬についてが、やっぱりいい若者、女性を言うんであれば、増がいいんじゃないかという方いらっしゃいますか。2名でいいですかね。

○西委員長 報酬財政を考えると、減らしてもいいという方がいらっしゃいますか。いらっしゃらないですね。2名の方なしということで、次に、政務活動費、意見が2とおりに分かれてましたが、現状で、今まで不要ではないかと。あるいは、政務活動費も、やり方によってあったほうがいいんじゃないかという御意見を出しました。現状維持の報酬の中に含まれるから不要ではないかという方は。

○日置委員 ちょっといいですか。

今、20人の意見出たときに、政務調査費が不要っていう意見の中で、定額のやり方であれば、認められないけれども、例えば形を変えた支出は必要なんじゃないかっていう意見の方も結構いらっしゃって、

○西委員長 だから、それはさっき言いました、今からあれします。2とおりでいいということで、やり方によってはあったほうがいいという御意見があったというふうに申し上げましたので、そのところで、挙手をお願いしたいと思う。

もう1回言います。報酬の中に含まれたり、という考え方でいけば、現状はございませんので、不要だというのは考え方、あるいは政務活動費として、活動の用途、やり方によってあったほうがいいというのと御意見もありましたのでその2点に絞って採決をしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい。」との声有り)

○西委員長 では、現状の中でですね、もう報酬の中に含まれるべきではないかという御意見もありましたので、現状のなしでいい方は挙手をお願いします。

8でいいですか。

○西委員長 次にですね、政務活動費も使い方によってはあったほうがいいと。一律いくらかという考え方じゃなくてですね。活動のやり方によってはあったほうがいいんじゃないかという御意見もございましたこのことに、賛成挙手をお願いしたいと思います。はいそのまま待ってください。11名です。

○西委員長 報酬については、現状のままということが多かったので、これを目指して12月議会に向けて取り組んでいきたいということでよろしいでしょうか。

（「はい。」との声有り）

○西委員長 政務活動費についてはですね、予算も関係もあるんですが、来年度からするというわけにはいかない、いかないだろうと思いますが、政務活動費も、やり方によってはあったほうがいいという方が11名でございましたので、今後そういうふうな、方向性で取り組んでいけたらと思いますがそれでよろしいでしょうか。

（「はい。」との声有り）

○西委員長 3つの件についてはその方向性で3点に集約されましたので、進めていきたいと思います。

3番目のその他ということで、皆さん方、御意見はございますか。さっきありましたけれども、このアンケートを受けて、今後、議会活動としてどう取り組んでいくかということ等の御意見がありましたが、今日のうちに協議を進めますか、また、改めて協議をしたほうがいいですか。

○吉永委員 僕もやはりこのアンケートの結果で、議会だよりもしかりなんですけど、いい悪いじゃなくていえば、議会が見えてないっていう現状の中で、アンケートの回収の多い少ないじゃなくてですね、現実的な部分としては、市民と語る会もこれまでいろんなやり方を考えてしてるんですけど、それとは別にまたいろんな形で、議会としてすべきっていう部分も考えれば、今後、全協なりその他の後で、協議して何らかの方向性だったり活動をしていくべきかなというふうに僕思うので、この時点でじゃあ何がそれぞれの意見もございますので、いつごろするかっていうのも必要な形だと思いますが、やはりアンケートをとった以上はどうかじゃなくて、今の現状として自分たちがどう受け止めて、何をすべきかを協議すべきかなと僕は思います。以上です。

○西委員長 私も、今日結論を出さないといけないっていうことはございませんので、今、提案がありました。やっぱり今後、議会活動として市民に関心を持っていただくためにはどうしたらいいかというのは、今後協議していくということで、今日は収めてよろしいですか。

（「はい。」との声有り）

○西委員長 重要なことであると思いますので、このことについてはまた今後協議をしていきたいと思います。

○上赤委員 先ほどから議会だよりの話も出てるんですけど、議会だより、次は12月議会の後の発行になっていくんですけど、そうしたときに、今回のこのアンケートの内容も含めた形での報告になると思うんですけど、そのときに特別に別途、ページ数を増やすことは可能なのか、その辺ちょっとお尋ねしたいと思います。

○**川崎議事係長** 今までのページで予算を組んでおりますので、4回、年何ページという形で、そこは補正を組めばできるかもしれませんが、こちらのほうも今ある予算の状況を見ないと今の段階で、増やせるというような形の断言はちょっとできないところで、また予算のほうを見てから回答したいと思います。

○**西委員長** アンケートを掲載することで、PRにはなるかと思います。

○**川崎議事係長** そのことなんですけど、委員会の結果は、ホームページのほうに、最初から会議録を載せるという形でしたので、これはアンケート結果も出していくということでもよろしいわけですね。それではそういう形で広報もそこでもされるわけですので、そこの兼ね合いでまた議会だよりのほうも考えた形で、どういう形に掲載するか考えていったほうが良いと考えております。

○**西委員長** 議会だよりのスペースの問題もありますので、今後、12月議会のところで終わった時点でいきたいと思います。

○**日置委員** 結論から言うと、政務活動費については、具体的な結論を得ないといけないんじゃないかと思ってるんです。この委員会を始めるときに、定数と報酬と政務活動費とこの3つについては具体的な結論を最低限得ましようねっていうのが共通理解で進んでいるんだと思うんですね。で、定数と報酬についてはもうとれたと、今の聞き方のやり方によっては認めていいですよっていうことなんですけど、それを調査するのがまさに報酬等調査特別委員会なので、これを、この委員会の報告書として今後検討していくだと、最初、みんなで決めたことが果たされないと思うんです。だから、11名これがあるんだったら、具体的にどういう制度設計なのかっていうところまでやっぱり詰めていかないと、当初、委員会で決めた3つの目的が果たせなくなるんじゃないですか。

○**西委員長** という御意見ですが。

○**菊永委員** 政務活動費等についてアンケート先ほどの結果で、現状のままで、それぞれ研修に行ったときに、事務局に申請をして、いくらかの費用弁償という形で支給をされるというようなことで、それで決まったわけですので、そういう形で、議会の広報紙等に掲載できるんじゃないですか。

○**西委員長ほか** （「違う。違う。」という声あり）

○**竹迫委員** その政務活動費については、次回で、検討するということではないと。もう12時だ。

○**西委員長** いいですか。まず、この件については、この定数等調査だけではなくてもいいと思います。全協ですもんね、私今後、もう来年ののにこの活動費を予算要求するのはちょっと難しいんじゃないかと思います。次のときから、来年じゃなくてね、その次からでもいいんじゃないかと思うんですが急遽、もう予算の財政のほうではもう、集計を、各課から聴取が始まっていると思います。そうするともう今年は来年度には間に合わないと思いますので、全協の中で語っていかないと早急にこの定数の中でというのは難しいんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

○**日置委員** この委員会で結論を出せて決めたんであれば、例えば、再来年度から、そういうふうやっていくっていうふう結論を出せばいいと思うんですね、私がそう思ったよりは、最初みんなでそれをそうしようということやってると思うんですよ、この委

員会で、具体的に決めましょうね、少なくともこの三つはって、だから別に来年度に間に合わないのはそれはそれでいいと思うんですけど、再来年度からどうしていくのかっていうふうなだったら結論を出していかないといけないじゃないですかね。

○川畑委員 私は、いろいろなことのことを含めた上での論議を今からやっていくんだという、だから、論議をやっていくために今日は票をとって挙手をして、やったんだろうと思っているんですけども、今日決まったから、来年から再来年から支給しましょうという、そのことを含めた上での論議は今から必要じゃないのかなと。

○日置委員 今日やろうっていうんじゃないですよ。今日やるって話じゃないです。

○竹迫委員 このことについてはやります、出しましょうという結論になったわけですから、それで、いつから、額とか、上限を設けてとかですね、そういうものは、内容等によってくると思います。まずこれが事務局でも、ちょっと詰めてもらわないのかなあと 생각합니다。どういう活動に出すんだというようなことですね。それで、これは私はやはりこの特別委員会で出すべきだと思う。全協じゃなくてですね。この特別委員会で、ですから、時期とか、額、そのやり方というか、そういうものを含めて、もう、今日は時間もないですから、次回で、議論したらいいんじゃないですか。以上です。

○西委員長 大方の意見は、今後に向けて協議をしていくということですので、あとはですね、この定数等調査特別委員会で協議するのか、あるいはもう全協でやるのか。そこをちょっと決めたいと思いますが、これはもう、今後決めていくという方向で、どういうふうに、政務活動費を設定するのか、そこまで決めていかないと、簡単にいかないと思いますので。

○竹迫委員 これはですね、当委員会でそういうことはやりましょうと、話し合いましょうということで、やったんですから、私は全協ではなくこの特別委員会で、やはり議論して結論を出すのが筋だと思う。

○西委員長　という意見もありますが簡単にその結論は出ないと思うんですので、どっちがいいですか皆さん。

○菊永委員 先ほどから出てるように、定数等特別等委員会っていう調査特別委員会っていうのを設置しているわけですので、この中で、アンケートのほうもそういう形で、皆さんに市民にアンケートもとっていただいて、そういう結果が出ているわけですので、また、議員は議員の中で、そのアンケートに基づいて、先ほど挙手で決定をさせていただきましたので、このまま特別委員会で、しっかりと協議をしていくべきっていう、それが筋じゃないかなというふうに思っております。以上です。

○西委員長　そういう特別委員会でやるべきだという御意見が多いようですが、個人的に申し上げますとですね、ずっと引きずらんとはいかないわけですね。来年の今頃まで方向性を決めるまで、特別委員会を持っていくのか。あるいはもう全協の中で話をすればいいんじゃないかというふうな、考えた方もあっていいのかなと。個人的には申し上げて、先ほどの意見としたところでございます。庁舎の関係も特別委員会は継続してるわけですね。そういうふうにならずに継続して特別委員会は継続していくのか。政務活動費はあったほうがいいのかということで、まとめを集約されましたので、これについてはもうどういうふうに使ったほうがいいのか、あるいはどういう場合に出したほうがいいのかというのは、非常に長

い議論になると思うんです。そうするともう、特別委員会をずっと引っ張るのか。という議論になるのかなと思ったものですから私はそういうふうに申し上げたと思いますが、もうこのことについても、採決していいですか。

○竹迫委員 これはですね、私は特別委員会でやりましょうというふうに来たんですから、途中から全協でお願いしようとか、そんなんも無責任なことはやるべきじゃないと思う。来年度からやるのか、その次の任期からやるのかですねいろいろ考え方、それであると思います。議員の皆さんも、ですから、権威あるこの特別委員会ですべきだと思います。全協で云々というのは軽いと思う。

○西委員長 特別委員会でずっと継続していくべきではないかという御意見ですが、そういう方向性の方は、挙手をお願いしたいと思いますが、よろしいですか。

当特別委員会のほうがいいという方、挙手をお願いします。

○西委員長 12名ですが、挙手多数ですので、特別委員会の中で、今後また、この政務活動費をどういうふうにしていくかというのは、協議していきたいと思います。

全て大体終わったんですがほかにございませんか。

（「なし。」との声有り）

○西委員長 本日の議会議員定数等調査特別委員会は、終了したいと思います。

（閉会 12:07）